

より後にて武者修行として東國の赴き相州日向
の薬師堂に通夜をあり北條家の士人等池無しの
ところ者生年十七才其僕孫四郎主従只少くも
の仇を待居りしに不審に見えけり一叫由來と
聞ふに兼池無しの條為る意致に語侍りと云ふ喜叫
僕と陰所へ招きて汝主人の容子と見たに内に
思ふ人なり若敵なりある人なりと云ふ
幼弱無忌我等力を合せてち望と違せしめん
我等に筑紫の方の者なりと云ふ事ありと云ふに我

ハ明かに語りしと云ふに僕等主人の父ハ菊池織
部ト申筑紫人ト侍りて天正の乱の後當國より
下り北條に仕へて病死しぬ其家督安堵うぬを根
津刑部といふ者公儀を妨けて子息無し此母妹
を浪卒の方と云ふ此怨を報せんとするに時お
なり然るに刑部明日病ふと云ふ侍りて由風よ
傳へ承り故相待たり然るに其方ハ大勢方
ハ只二人當り難く存せられぬと云ふ事を幸に討死
はうと云ふとなすなり斯る事侍り申心底嗚呼